

# 黙示録ハイライト

イントロダクションと70週

黙示録 1 : 1



一般社団法人オメガ・ジャパン

Omega Japan

## 黙示録

### 聖書の作者は神様お一人

Ⅱテモ 3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。

★ この聖書は、神様が人間にあてて書かれたラブレターです。

### 神様の約束 黙示録で成就

あわれみ深く、怒るに遅い神様が、いよいよ罰すべき者を罰する時、これが黙示録です。

#### 【1】 出エジプト 34:6-7

34:6 主は彼の前を通り過ぎるとき、宣言された。「主、主は、あわれみ深く、情け深い神、怒るのにおそく、恵みとまことに富み、

34:7 恵みを千代も保ち、咎とそむきと罪を赦す者、罰すべき者は必ず罰して報いる者。父の咎は子に、子の子に、三代に、四代に。」

6-7節、あわれみ深く、情け深い、怒るに遅い神様ですが、罰すべきものを罰するお方＝

## 黙示録の学習基礎

### イエス・キリスト来臨の預言 333 個

最初に来られた時、109 個の預言が成就。再臨の時の預言。倍以上の 224 個。イエス様ご自身も 21 回語っている。黙示録のテーマはイエス・キリストの再臨。

#### 【2】 黙示録 1:7

1:7 見よ、彼が雲に乗って来られる。すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る。地上の諸族はみな、彼のゆえに嘆く。しかり。アーメン。

彼が雲に乗って来られる＝テーマは、イエス・キリストの再臨

すべての目、ことに彼を突き刺した者たちが、彼を見る＝

### 著者と書籍の場所

12 使徒の一人であるヨハネ。これは、初代教会から伝えられている。ローマ皇帝ドミティアヌスの時代。迫害によって島流しされた。

### 島流しにされた場所はエーゲ海にあるパトモス島

### 黙示録を記念しているパトモス島にある教会

#### 【3】 黙示録 1:9

1:9 私ヨハネは、あなたがたの兄弟であり、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐とにあずかっている者であって、神のことばとイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

このパトモス島＝エペソの南西 90 キロのエーゲ海にある縦横 9 km × 1.5 km の小さな島。

### 書かれた年代の時代背景

皇帝ドミティアヌスの治世、西暦 90 年前後に書かれている。年代は時代背景を知ることによって不可欠。西暦 70 年にユダヤ人がローマに敗北。神殿と国を無くして世界離散となった。黙示録の預言は 70 年の戦いにあてはめられない。

## 黙示録の内容について

イエス・キリストの栄光。キリストの教会。再臨前7年間の出来事。反キリストと大バビロン。キリストの再臨の様子。神の御国の到来。新天新地の到来。

## 黙示録の役割

黙示録の内容は旧約聖書にすでに書かれている。しかしどんなに時間をかけて学んでも終末に起こる順番が旧約聖書では理解できない。黙示録は番号を付けて順番を伝えている。

## 黙示録のもう一つの役割

神様のご計画で見えなかった部分が明らかにされる。永遠のご計画は黙示録に初めて出てくる。旧約聖書の新天新地は千年王国のこと。

## イエス・キリストの黙示

ギリシャ語で黙示＝アポカリプシス。カーテンを外し、全員が同じように見える。記録すると、秘密を明らかにするの意味。黙示録を学ぶことは、イエス・キリストの見えなかった部分が明らかにされる。

### **【4】 黙示録 1:1**

1:1 イエス・キリストの黙示。これは、すぐに起こるはずの事をそのしもべたちに示すため、神がキリストにお与えになったものである。そしてキリストは、その御使いを遣わして、これをしもべヨハネにお告げになった。

イエス・キリストの黙示＝ギリシャ語の Apocalypses アポカリプシスと言う単語が使われています。

**意味**カーテンをはずす、それによって全員同じように見える。

★ さらに黙示を記録した場合

1. 隠れたものを現す
2. 秘密をもらす
3. 明らかにする

★ これは、イエス・キリストの黙示です。「イエス・キリストの見えなかった部分が明らかにされる。」の意味です。

すぐに起こるはずの事＝終末の出来事が起こり始めたら、すぐに起こることを語っていると考えられます。瓶の蓋を開けて注ぎ始めたら、すぐに空になる意味。

## 黙示録の特徴

黙示録を朗読し、それを聞く者は、祝福を受ける。ギリシャ語の祝福＝マカリオス。最高に祝福される。さびない健康。思いもよらない恵み。

### **【5】 黙示録 1:3**

1:3 この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを心に留める人々は幸いである。時が近づいているからである。

この預言のことばを朗読する者、聞いて、書かれていることを心に留める人々は幸いである＝ギリシャ語の、Makarios マカリオスという単語が使われています。これは、

1. 最高に祝福される
2. さびない健康
3. 思いもよらない恵み などの意味があります。

### 黙示録は教会にあてて書かれた

小アジアには多くの教会があったが、7つだけに送られた。これは7種類の教会。7の数字は完全数。これはすべての時代のすべての教会へ送られたメッセージと考えられる。

#### 【6】 黙示録 1:11

1:11 その声はこう言った。「あなたの見ることを巻き物にしるして、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、フィラデルフィヤ、ラオデキヤに送きなさい。」

七つの教会に送きなさい＝

### 教会に3つのことが送られた

見たこと＝イエス・キリストの栄光、黙示録1章。今あること＝今日に至るまである教会、黙示録2章と3章。この後起こる事＝未来の預言の成就、黙示録4章から22章、終末、再臨、千年王国、新天新地。

#### 【7】 黙示録 1:19

1:19 そこで、あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事を書きしるせ。

あなたが見た事＝

今ある事＝

この後に起こる事＝4章から22章は、終末、再臨、千年王国、そして新天新地のことになりま

### 黙示録の基礎知識

1章から3章まで教会ということばが19回。4章から22章まで教会ということばがない。4章からイスラエル用語がたくさん出てくる。終わりの日にイスラエルという国が再建される預言の成就と考えられる。終末にイスラエルが重要な役割をになうからだと考えられる。

## ダニエルの70週

### 70年の預言を知る

ダニエルは紀元前605年に捕囚となった。捕囚が終わりに近づいている。ただ喜ぶだけでなく断食をして、荒布を着、灰をかぶって、人には会えない最もへりくだった姿で、自分の民の罪を告白して、預言の成就を願った

#### 【8】 ダニエル 9:2-3

9:2 …私、ダニエルは、預言者エレミヤにあった主のことばによって、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った。

9:3 そこで私は、顔を神である主に向けて祈り、断食をし、荒布を着、灰をかぶって、願い求めた。

2節、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数が七十年であることを、文書によって悟った＝

3節、断食をし、荒布を着、灰をかぶって＝

### ダニエルの祈りの内容

#### 【9】 ダニエル 9:17

9:17 私たちの神よ。今、あなたのしもべの祈りと願いとを聞き入れ、主ご自身のために、御顔の光を、あなたの荒れ果てた聖所に輝かせてください。

御顔の光を、あなたの荒れ果てた聖所に輝かせてください＝

## 主が天使ガブリエルを遣わした

祈り始めて間もなく正しい答えを与えにきた。メシア王国の到来は、70年の捕囚が終わった時ではないことを伝えに来た。

### 【10】 ダニエル 9:21-24

9:21 …私がまだ祈って語っているとき、私が初めに幻の中で見たあの人、ガブリエルが、夕方のささげ物をささげるところ、すばやく飛んで来て、私に近づき、  
9:22 私に告げて言った。「ダニエルよ。私は今、あなたに悟りを授けるために出て来た。  
9:23 あなたが願いの祈りを始めたとき、一つのみことばが述べられたので、私はそれを伝えに来た。あなたは、神に愛されている人だからだ。そのみことばを聞き分け、幻を悟れ。  
9:24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。…

21 節、ガブリエル＝

23 節、願いの祈りを始めた時＝

24 節、あなたの民とあなたの聖なる都＝

24 節、七十週が定められている＝

## ダニエルの勘違い

ダニエルはバビロン捕囚が終わると、神殿再建され、神の御国の到来、メシア王国の到来だと思って祈っている。

★ ダニエルは、70年のバビロン捕囚が終わったら、すぐに、エルサレムに神様の栄光が現れる。

そして、千年王国である御国が訪れると思って祈っていました。

★ しかし、天使は、「千年王国が到来するまで、70週がさだめられています。」と言っています。

★ 言い換えれば、「ダニエルさん、あなたの理解は間違っていますよ。」

## 旧約聖書の学びなしでは黙示録は理解しにくい

黙示録の 550 か所が旧約聖書から、旧約聖書の終末論と黙示録と一緒に学ぶと理解しやすくなる。難解書と言われる黙示録は、分かって分からなくても、学ぶ者が祝される。

## 70週の終りに起こる6つのこと

- ① そむきをやめさせる ② 罪を終わらせる ③ 咎を贖う ④ 永遠の義をもたらす  
⑤ 幻と預言とを確証する ⑥ 至聖所に油をそそぐ 神の御国到来なしではありえない事柄

### 【11】 ダニエル 9:24

9:24 あなたの民とあなたの聖なる都については、七十週が定められている。それは、そむきをやめさせ、罪を終わらせ、咎を贖い、永遠の義をもたらし、幻と預言とを確証し、至聖所に油をそそぐためである。

★ ユダヤ人とエルサレムについて、神の御国以外では成就できない6つのこと。

1. そむきをやめさせる＝
2. 罪を終わらせる＝
3. 咎を贖い＝
4. 永遠の義をもたらす＝
5. 幻と預言とを確証＝
6. 至聖所に油を注ぐ＝

★ ユダヤ人とエルサレムに定められている70週が終わると成就することです。

## 70週の始まり

引き上げてエルサレムを再建せよ。との命令が出ると70週の時計が動き始める。70の7年＝490年が定められている。これが終わるとメシア王国到来。

## 【12】 エズラ記 1:1-2

1:1 ペルシヤの王クロスの第一年に、エレミヤにより告げられた主のことばを実現するために、主はペルシヤの王クロスの霊を奮い立たせたので、王は王国中におふれを出し、文書にして言った。

1:2 「ペルシヤの王クロスは言う。『天の神、主は、地のすべての王国を私に賜った。この方はユダにあるエルサレムに、ご自分のために宮を建てることを私にゆだねられた。』」

2 節、バビロンを崩壊し、メディヤ・ペルシヤが治めるようになった第一年に、「エルサレムを再建せよとの命令が出た。

70 週の計算は、終末の学びに欠かせないこと

## 【13】 ダニエル 9:25-26

9:25 それゆえ、知れ。悟れ。引き揚げてエルサレムを再建せよ、との命令が出てから、油そそがれた者、君主の来るまでが七週。また六十二週の間、その苦しみの時代に再び広場と、ほりが建て直される。

9:26 その六十二週の後、油そそがれた者は断たれ、彼には何も残らない。やがて来たるべき君主の民が町と聖所を破壊する。その終わりには洪水が起こり、その終わりまで戦いが続いて、荒廃が定められている。

70 週の計算は、「引き揚げてエルサレムを再建せよ」という命令が出るところから始まります。

★ 紀元前 6 世紀の BC539 年にバビロンが滅び、メディヤ・ペルシヤの支配になった。

★ その時「エルサレムを再建せよ。」という命令が、ペルシヤの王クロスによって布告されました。

その苦しみの時代＝

25 節、油そそがれた者、君主の来るまでが＝

キリストが来るまで 7 週と 62 週が定められている。69 週です。

油そそがれた者は断たれ＝キリストがたたれる十字架を指しています。

★ 7 週と 62 週を＋すると 69 週です。

★ それに 7 を×と 483 年です。

★ 「エルサレムを再建せよ」の命令が出てから、キリストが十字架にかかって命がたたれるまでが 483 年だ、とすることになります。

彼には何も残らない＝人間としては、何も残らない結果になった。

26 節、やがて来たるべき君主の民＝西暦 70 年にエルサレムを破壊したローマ軍を「やがて来たるべき反キリストの民」と呼んでいます。

★ エルサレムを破壊したローマ軍は第 10 の軍勢でした。

★ これは中東の範囲を管理していた軍勢です。

★ 現在は、忘れられていた中東が、世界の中心であるかのように、毎日ニュースに出てくる時代になりました。

★ これは、来たるべき君主、最後の残酷な独裁者、反キリストの到来近いと考えられる。

## 7つの封印と終末の伝道師たち

聖句 黙示録 5:1

### 天の巻物

#### 7年のカウントダウンの始まり

天の巻物。父なる神様が子羊に巻物を渡すまで、患難時代は始まらない。巻物の封印が解かれなければ、神の御国の到来はない。

★ 最後の一週の始まる前に、天で起こる重要な出来事があります。

## 【15】 黙示録 5:1

5:1 また、私は、御座にすわっておられる方の、右の手に巻き物があるのを見た。それは、内側にも外側にも文字が書きしるされ、七つの封印で封じられていた。

内側にも外側にも書きしるされている巻物=これは一体どんな巻物なのでしょう？

### 巻物の裁き全体像

七つの封印=

父だけしか知らない日の到来

【16】 黙示録 5:7-8

5:7 小羊は近づいて、御座にすわる方の右の手から、巻き物を受け取った。

5:8 彼が巻き物を受け取ったとき、四つの生き物と二十四人の長老は、おのおの、立琴と、香のいっばいはいった金の鉢とを持って、小羊の前にひれ伏した。この香は聖徒たちの祈りである。

御座にすわる方の右の手から、巻き物を受け取った=

マタイ 24:36 で、…その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。天の御使いたちも子も知りません。ただ父だけが知っておられます。」と書かれている。

## 封印の災難

### 第一の封印 患難時代の始まり

キリストの真似をして白い馬に乗って来る。冠が与えられた=褒美にもらった冠で、王ではない=反キリストだと考えられている。弓は持っているが矢を持っていない。にせの世界平和をもたらす者。イエス・キリストはもともと王冠を持っている。すでに勝利を得られた王。

封印の災難=大患難時代、7年の4分の1  
4頭の馬から始まる

### 封印の表

	しるし	災難	聖句
第一の封印	白い馬 反キリストの 部分で詳しく 学びます。	冠、勝利の上に勝利を得ようとする者がやって来る ・この冠は、ギリシャ語のステファノス(Stephanos)です。冠は持っているものではなく、褒美にもらった物。 ・イエス様の冠は、ディアDEM(Diadem)です。冠を持つべき者の冠です。 ・いよいよ終末のカウントダウンが始まります。 ・白い馬=ほとんどの神様学者が、反キリストである荒らす忌むべき者であるといっています。キリストに見せかける偽物です。 その理由は、第二、第三、第四と続く馬が、戦争、ききん、そして死病を表しているからです。 ・それゆえ、白い馬も人々を苦しめる者と考えられているのです。	6:1-2
第二の封印	赤い馬	平和を奪う3つの世界大戦 ① 赤い馬 黙示録6:4 火と血を表す ② 反キリストと3人の王の大戦(ダニエル11:45) ③ 再臨の時の大戦。通称ハルマゲドンの戦い。	6:3-4
第三の封印	黒い馬	小麦1 柘1 デナリ 普通は、小麦8 柘が1 デナリ 大麦3 柘1 デナリ 普通は、大麦24 柘が1 デナリ 千倍の値段と言う神学者もいる	6:5-6

第四の封印	青ざめた馬 伝染病が爆発的に発生するパンデミックの時代	青ざめた馬＝世界を襲う剣とききんと死病。 赤い馬と、黒い馬と、そして青ざめた馬によって世界の25%人々が死亡 <u>今までの伝染病の一部</u> ・14世紀の黒死病によって、2年間で、ヨーロッパの約1億人が、死亡したと記録されています。 ・1918-1919年20世紀初めのスペイン風邪では、2500万人以上が死亡しました。 ・また、一人の人から始まったサーズは、世界、28カ国に広がって行きました。すでにエボラ出血熱 ・将来、鳥のような新型インフルエンザによって1億5千万人が死ぬのは簡単と予測されています。 ・この青ざめた馬が現れると、このような恐ろしい伝染病が現れ、多くの人々が死ぬと預言している	6:7-8
第五の封印	殉教した魂	祭壇の下にいる殉教者たち。 聖徒たちの祈りは天の祭壇の下に上ってくる。 殺されるはずの人々の数が満ちるまで。 20世紀に殉教したクリスチャンの数は、1-19世紀総合した数より多い。 患難時代の殉教者は数え切れない数	6:9-11
第六の封印	大きな地震	暗闇 5回に渡る暗闇 ① 患難前、 ヨエ 2:31 闇① ② 患難初めの4分の1時、 黙示録 6:12 闇② ③ 患難中間時、 黙示録 9:2 ④ 患難4分の3時、 黙示録 16:10 ⑤ ご再臨時、 マタイ 24:29 地震は世界規模。おそらく火山の爆発、津波、経験のない震度を感じるでしょう。	6:12-17

★ 始まる直前から、終わりまで、続くものと考えられます。

### 患難時代に活躍する伝道師達

世界を救うため神様は伝道師を送る

神の印が押されるイスラエル民族の、14万4千人の伝道師たち。エルサレムに遣わされる、2人の証人伝道師。中天を飛ぶ御使いの伝道。

【17】 黙示録 7:1-3

7:1 この後、私は見た。四人の御使いが地の四隅に立って、地の四方の風を堅く押さえ、地にも海にもどんな木にも、吹きつけないようにしていた。  
7:2 また私は見た。もうひとりの御使いが、生ける神の印を持って、日の出るほうから上って来た。彼は、地をも海をもそこなう権威を与えられた四人の御使いたちに、大声で叫んで言った。  
7:3 「私たちが神のしもべたちの額に、印を押してしまうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけない。」

地の四隅＝

神のしもべたちの額に印を押してしまうまで、地にも海にも木にも害を与えてはいけない＝



【18】 黙示録 7:4-8

7:4 それから私が、印を押された人々の数を聞くと、イスラエルの子孫のあらゆる部族の者が印を押されていて、十四万四千人であった。

7:5 ユダの部族で、印を押された者が 12,000 人、ルベンの部族で 12,000 人、ガドの部族で 12,000 人、

7:6 アセルの部族で 12,000 人、ナフタリの部族で 12,000 人、マナセの部族で 12,000 人

7:7 シメオンの部族で 12,000 人、レビの部族で 12,000 人、イッサカルの部族で 12,000 人

7:8 ゼブルンの部族で 12,000 人、ヨセフの部族で 12,000 人、ベニヤミンの部族で 12,000 人、印を押された者がいた。

印を押された人々 = 世界中に住んでいるイスラエルの 12 部族だと考えられます。

144,000 人はどのように選ばれたか

【19】 黙示録 9:4

9:4 そして彼らは、地の草やすべての青草や、すべての木には害を加えないで、ただ、額に神の印を押されていない人間にだけ、害を加えるように言い渡された。

額に神の印を押されていない人間にだけ害を加えるよう =

【20】 黙示録 7:9

7:9 その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。

その後 =

あらゆる国民、部族、民族、国語 =

だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆 =

【21】 黙示録 14:6-7

14:6 また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は、地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。

14:7 彼は大声で言った。「神を恐れ、神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。天と地と海と水の源を創造した方を拝め。」

【22】 マタイ 24:14

24:14 この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。

【23】 黙示録 14:14-16

14:14 また、私は見た。見よ。白い雲が起こり、その雲に人の子のような方が乗っておられた。頭には金の冠をかぶり、手には鋭いかまを持っておられた。

14:15 すると、もうひとりの御使いが聖所から出て来て、雲に乗っておられる方に向かって大声で叫んだ。「かまを入れて刈り取ってください。地の穀物は実ったので、取り入れる時が来ましたから。」

14:16 そこで、雲に乗っておられる方が、地にかまを入れると地は刈り取られた。

## 七つのラッパの災難

### 第七の封印

天国中に、息を飲むような静けさが訪れています。

【24】 黙示録 8:1

8:1 小羊が第七の封印を解いたとき、天に半時間ばかり静けさがあった。

### いよいよ巻物の中を見る

#### 七つのラッパの災難、第七の封印に含まれる

第七の封印を解くと、ついに巻物本体を広げて、中を見ることができます。巻物の中身は、七つのラッパの災難がはじまる。七つのラッパが終わると、大患難時代の半分が終わる

第七の封印	しるし	災難	聖句
第一のラッパ	血の混じった雹と火 最初の破壊は洪水 第二の破壊は火	3分の1の野菜、果樹園、木々が焼けています。木々を礼拝している人々がいるゆえ。 創世記 1:11 神は仰せられた。「地が植物、すなわち種を生じる草やその中に種がある実結ぶ果樹を、種類にしたがって、地上に芽ばえさせよ。」そのようになった。	8:7
第二のラッパ	火の燃えている山が、海に投げ込まれた山なので星ではない おそらく火山の大爆発で燃える山が海に落ちる おそらくスーパー火山爆発によるものと考えられる。 世界規模の被害	3分の1の海の生き物が死んでいます。 魚や海草が主なる食物としている人々が餓死。 1:21、24 神は、海の巨獣と、種類にしたがって、水に群がりうごめくすべての生き物と、種類にしたがって、翼のあるすべての鳥を創造された。神はそれを見て良しとされた。神は仰せられた。「地が、種類にしたがって、生き物を生ぜよ。家畜や、はうもの、野の獣を、種類にしたがって。」そのようになった。	8:8-9
第三のラッパ	燃えている大きな星が天から落ちて来る  創世記 4 日目	3分の1の水が飲めなくなる 世界中の3分の1の食物と水がなくなる。 世界的に水の危機。 1:20 神は仰せられた。「水には生き物が群がれ。鳥が地の上、天の大空を飛べ。」 生き物は毒の水を飲んで死ぬ	8:10-11
第四のラッパ	太陽の3分の1と、月の3分の1と、星の3分の1が打たれる	太陽は薄暗く、夜は、月が出ていてもほとんど何も見えない状況で、人々に恐れを抱かせることでしょう。	8:12-13
第五のラッパ	星が天から地上に落ちる。底知れぬ所に通じる穴から煙が立ち上り、煙からいなごのようなものが現れる。	悪霊侵入 太陽も空も、この穴の煙によって暗くなる。5ヶ月間人間を苦しめることが許されている。苦しみのあまりに自殺をしようとしても、5カ月間死ぬこともできない。 いなごの寿命は5カ月 闇③	9:1-11
第六のラッパ	二億の軍勢が解放される。	彼らの口から出る火と煙と硫黄で人類の3分の1が殺された。	9:12-21

第七のラッパ	七つの鉢	第七のラッパは7つの鉢の災難です。いよいよ、 <u>最後の半分、残りの3年半</u> に入ります。	11:15-19
--------	------	---	----------

### エルサレムで活躍する伝道師

#### エルサレムで伝道する二人の証人

二人の油注がれたもの=二人のメシア。伝道の期間は1260日=三年半。口から火が出て敵を滅ぼしつくす。奇跡のゆえに伝道が中継になるだろう。イエス・キリストが真の神であることを、ユダヤ人と世界に伝える。これは、大きな患難の前半に起こる出来事です。

#### 【25】 黙示録 11:3-10

11:3 それから、わたしが、わたしのふたりの証人に許すと、彼らは荒布を着て、千二百六十日[3年半]の間預言する。

11:4 彼らは全地の、主の御前にある、二本のオリーブの木、また二つの燭台である。

11:5 彼らに、害を加えようとする者があれば、火が彼らの口から出て、敵を滅ぼし尽くす。彼らに、害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される。

ふたりの証人=

荒布を着て、千二百六十日(3年半)の間預言する=

彼らに、害を加えようとする者があれば、必ずこのように殺される=

#### 二人の証人

- 誰も殺すことができなかつた彼らが、患難中間で、反キリストに殺されます。

#### 【26】 黙示録 11:7

11:7 そして彼らがあかしを終えると、底知れぬ所から上って来る獣が、彼らと戦って勝ち、彼らを殺す。

底知れぬ所から上って来る獣=

#### 二人の証人の復活

#### 【27】 黙示録 11:11-13

11:11 しかし、三日半の後、神から出たいのちの息が、彼らに入り、彼らが足で立ち上がったので、それを見ていた人々は、非常な恐怖に襲われた。

11:12 そのときふたりは、天から大きな声がして、「ここに上れ」と言うのを聞いた。そこで、彼らは雲に乗って天に上った。彼らの敵は、それを見た。

11:13 そのとき、大地震が起こって、都の十分の一が倒れた。この地震のため、七千人が死に、生き残った人々は、恐怖に満たされ、天の神をあがめた。

11節、神から出たいのちの息=

11節、彼らが足で立ち上がった=

13節、地震が起こって、七千人が死に=

13節、恐怖に満たされ、天の神をあがめた=

ダニエル 70 週、最後の一週、7年の大きな患難の半分が終わりました。

世界中の心が真の神様の方へ向きかかっている時です

#### 御使いの伝道

御使いが永遠の福音を携えて、大声で伝道している。144,000人に耳を傾けない者も、御使いが大声で叫ぶ声に、腰をぬかして耳を傾けるであろう。

【28】 黙示録 14:6-7

14:6 また私は、もうひとりの御使いが中天を飛ぶのを見た。彼は地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた。

14:7 彼は大声で言った。「神を恐れよ。神をあがめよ。神のさばきの時が来たからである。天と地と海と水の源を創造した方を礼拝せよ。」

6 節、御使いが中天を飛ぶのを見た＝

6 節、彼は地上に住む人々、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音を携えていた＝

荒野に逃げるユダヤ人

ダニエル 70 週の最後の一週のみことば

【29】 ダニエル 9:27

9:27 彼は一週の間、多くの者と堅い契約を結び、半週の間、いけにえとささげ物とをやめさせる。荒らす忌むべき者が翼に現れる。ついに、定められた絶滅が、荒らす者の上にふりかかる。」

キリストの再臨を止めようとしてユダヤ人抹殺を試みる

反キリストに追われてユダヤ人逃亡。1260 日＝3 年半備えられた荒野に逃げる。この中で聖書を学び、イエス・キリストがメシアで神であると知る。先祖の罪と自分たちの罪の悔い改めをする。

【30】 マタイ 24:15-16

24:15 「それゆえ、預言者ダニエルによって、語られたあの『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば、(読者はよく読み取るように。)

24:16 そのときは、ユダヤにいる人々は、山へ逃げなさい。」

15 節、『荒らす憎むべき者』が、聖なる所に立つのを見たならば＝

16 節、山へ逃げなさい＝

イスラエルが通る患難

イスラエルの 3 分の 2 が殺される。生き残った三分の一が、金が試されるような苦しみを通り、メシアを拒否したイスラエルが試される時。ついに主イエスが彼らの神と知る。

【31】 ゼカリヤ 13:8-9

13:8 全地はこうなる。——主の御告げ——その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一がそこに残る。

13:9 わたしは、その三分の一を火の中に入れ、銀を練るように彼らを練り、金をためすように、彼らをためす。彼らはわたしの名を呼び、わたしは彼らに答える。わたしは「これはわたしの民。」と言い、彼らは「主は私の神」と言う。

8 節、その三分の二は断たれ、死に絶え、三分の一がそこに残る＝

9 節、銀を練るように彼らを練り、金をためすように彼らをためす＝

9 節、彼らはわたしの名を呼び＝

【32】 エレミヤ 30:7

30:7 ああ。その日は大いなる日、比べるものもない日だ。それはヤコブにも苦難の時だ。しかし彼はそれから救われる。

それはヤコブにも苦難の時だ＝

## ユダヤ人逃亡

### 【33】 黙示録 12:1-2, 5-6

12:1 また、巨大なしるしが天に現れた。ひとりの女が太陽を着て、月を足の下に踏み、頭には十二の星の冠をかぶっていた。

12:2 この女は、みごもっていたが、産みの苦しみと痛みのために、叫び声をあげた。

12:5 女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもって、すべての国々の民を牧するはずである。その子は神のみもと、その御座に引き上げられた。

12:6 女は荒野に逃げた。そこには、千二百六十日の間[3年半]彼女を養うために、神によって備えられた場所があった。

★ ここで語られている女は、イスラエルのことです。

黙示録 12 章が星に現れた 2017/9/23 ヴァーゴ (乙女座) が 7000 年に一度しか起こらない。太陽を肩の所に、そして月(新月)を足の所に置き、9 個の星を持つ Leo(しし座)に三つの星が並んだ。

## 創世記 37:9-10

「また、私は夢を見ましたよ。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいるのです」と言った。ヨセフが父や兄たちに話したとき、父は彼をしかって言った。「おまえの見た夢は、いったい何なのだ。私や、おまえの母上、兄さんたちが、おまえのところに進み出て、地に伏しておまえを拝むとでも言うのか。」

太陽=ヨセフ 月=ラケル 11の星=ヨセフの兄弟。ヨセフを入れると 12.

5 節、女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖をもってすべての国々の民を牧することになっていた。その子は神のみもとに、その御座に引き上げられた=

6 節、千二百六十日の間、彼女を養うために、神によって供えられた場所があった=

女は荒野に逃げた=

千二百六十日の間=

神様によって備えられている場所=ボツラの地図。

彼等が逃げて行く場所は、すでに備えられている場所です。

神様によって備えられている場所=

### 【34】 ミカ 2:12

2:12 ヤコブよ。わたしは、あなたをことごとく必ず集める。わたしはイスラエルの残りの者を必ず集める。わたしは彼らを、おりの中の羊のように、牧場の中の群れのように一つに集める。こうして人々のざわめきが起ころう。

★ おりの中の羊=

ヘブライ語=ボツラ      ギリシャ語=ペトラ

## 現在世界遺産となっているペトラ

多くのアメリカ人やカナダ人のクリスチャンが旅行に行き、聖書を隠している。ユダヤ人は二人の証人をとおしてイエス様が、メシアであり神であると聞いている。しかし自分で調べないと信じない民族。聖書を見つけて調べることができるよう。

## なぜサタンはイスラエルを追いかける

★ サタンは世界中の人々は関係なく、イスラエルの民を追いかけて抹殺しようとしています。

★ ユダヤ人とエルサレム神殿の丘が一つになっている時、彼らが救われて、キリストの再臨が起きます。

- ★ 70週はご再臨によって終了します。
- ★ ゆえにサタンがなんとしてもキリストの再臨にならないように、ユダヤ抹殺を試みます。

#### イエス様が語られた再臨の条件

- ★ サタンは、ユダヤ人の民族的救いによって、自分が敗北になることを良く知っています。

【35】 マタイ 23:39

23:29 「あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。」

- ★ この言葉の意味は、「次にユダヤ人たちがイエス・キリストを見るのは、『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』と言う時です。
- ★ この言葉は、ユダヤ人がキリストを迎える言葉です。